

## 縄文体験ツアー 「山の神遺跡と火おこし体験」開催

国営アルプスあづみの公園【大町・松川地区】では、11月23日（日）に「山の神遺跡と火おこし体験」を開催します。園内に残る縄文遺跡「山の神遺跡」を、「自然環境学習グループ」の公園サポーターが分かりやすくご紹介。ツアー後は、昔ながらの「まいぎり式」による火起こし体験にチャレンジします。縄文文化に触れながら学び・体験できるプログラムです。



過去の実施状況（学校団体対象に実施）

### ◆縄文遺跡を訪ねるガイドツアー

園内の「アルプス大草原」にある“山の神遺跡”。公園の建設に伴い平成9年から4年間、約8千平方メートルの発掘調査を行ったところ、東西11メートル、南北9メートルの「コ」の字状の配石遺構を発見。細久保式と呼ばれる尖底土器が出土し、縄文時代でも最古級に位置付けられています。

- 開催日：令和7年11月23日（日）※小雨決行、荒天中止
- 時 間：13:00～15:00
- 場 所：インフォメーションセンター（集合）
- 参加費：無料（別途入園料必要）
- 定 員：5組（事前申込）※11/3現在、4組12名申込

### ◆長野県宝に指定された出土品

尖底土器に加え、配置石遺構とその周辺部からは、「異形部分磨製石器」41点が出土。一遺跡としては国内最多で、狩猟採集社会における特別な祭祀後と推定されています。これらの出土品は、縄文文化の形成を考える上に極めて重要であり、令和5年に「長野県宝」に指定されました。

### ◆火おこしの難しさを学ぶ体験

火きり棒と火きり板を用い、棒を板上で回転させて摩擦熱から火種を作る「まいぎり式」。火きり棒の下部に重りを付け、紐を取り付けた横木を棒に通して上下に動かし、紐を巻きつけて回転運動へと変換。効率よく回転が得られるため、縄文時代に用いられていたと考えられている「きりもみ式（手で直接回す方法）」よりも比較的容易に火を起こすことができます。



「山の神遺跡」の解説看板



「まいぎり式」での火おこし体験

#### Information

「大草原の家」で、日替わりで映画を楽しむ  
11/22(土)～24(月・休)「映画上映会」開催

お問い合わせ

アルプスあづみの公園管理センター 大町・松川地区 企画運営担当：足立・尾澤  
〒398-0004 長野県大町市常盤 7791-4 TEL:0261-21-1212 FAX:0261-21-1214  
[https://www.azumino-koen.jp/oomachi\\_matsukawa/](https://www.azumino-koen.jp/oomachi_matsukawa/) 公園公式SNSもご覧ください

X

Instagram

Facebook